

2023 年度 事業計画

[1] 福祉会の実施事業について

よさみ野福祉会として、現在実施、および新年度にて実施予定の事業は以下の通りとなる。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 障害福祉サービス 生活介護 | 2 障害福祉サービス 共同生活援助 |
| 3 障害福祉サービス 短期入所 | 4 障害福祉サービス 特定計画相談事業 |
| 5 行事等の開催あるいは参加 | 6 実習・ボランティア等受入 |

[2] 生活介護事業について

- | | | | |
|-----------------|---------------------|--|--------|
| 1 実施場所(2か所) | よさみ野障害者作業所 (定員30) | | |
| | 第2よさみ野障害者作業所 (定員15) | | |
| 2 定員および利用実績について | (a) 定員 | | 45 名 |
| | (b) 利用者数 | | 41 名 |
| | (c) 開所予定日数 | | 254 日 |
| | (d) 延利用者数(見込) | | 9604 人 |
| | (e) 平均出席率 | | 92 % |
| | (f) 平均障害程度区分 | | 5.2 |

[3] 共同生活援助事業について

- | | | | |
|-----------------|---------------|--------|----------|
| 1 実施場所(3か所) | ぼむ (定員5) | | |
| | こりす (定員4) | | |
| | らんぷ (定員4) | | |
| 2 定員および利用実績について | (a) 定員 | | 13 名 |
| | (b) 利用者数 | | 13 名 |
| | (c) 開所日数 | | 365 日 |
| | (d) 延利用者数(見込) | | 4057 人 |
| | | (内 ぼむ | 1502 人) |
| | | (内 こりす | 1377 人) |
| | | (内 らんぷ | 1178 人) |
| | (e) 平均利用率 | | 85.50 % |
| | | (内 ぼむ | 82.30 %) |
| | | (内 こりす | 94.31 %) |
| | | (内 らんぷ | 80.68 %) |
| | (f) 平均障害程度区分 | | 4.89 |
| | | (内 ぼむ | 4.96) |
| | | (内 こりす | 4.74) |
| | | (内 らんぷ | 4.97) |

[4] 短期入所事業について

- | | | | |
|--------|-----------|--|--------------|
| 1 実施場所 | らんぷ | | |
| 2 利用見込 | (a) 居室数 | | 4 名 |
| | (b) 開所日数 | | 348 日 (312泊) |
| | (c) 延利用者数 | | 888 名 |

[5] 特定計画相談事業について

1 実施場所	よさみ野障害者作業所		
2 利用見込	(a)	利用者数(名簿)	39名
	(b)	開所日数	254日
	(c)	延利用者数	324名
		※利用支援あるいは継続支援の利用回数	
		(内 利用支援)	48)
		(内 継続支援)	276)
	(d)	加算算定数	456回

[6] 行事等の開催あるいは参加について

1 行事への参加	7月	あいあいあいまつり
	12月	合同クリスマス会

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

2 販売(授産)	(a)	区役所販売(毎月 第1・3月曜日)
	(b)	なごみ(毎週木曜日)

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

[7] 実習・ボランティア等受入

1 介護体験実習等(大学生・介護・教職課程)	実習参加者見込	10名
	延べ実習日数	55日
2 利用体験実習	実習参加者見込	3名
	延べ実習日数	10日

[8] 職員関係

1 雇用職員

管理者	4名
サービス管理責任者	2名(管理者と兼務)

(生活介護)	常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	20名	6	14
調理員	2名		1
医師	1名		1
看護師	1名		1

(共同生活援助)	常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	9名	1	11
世話人	5名		5

(短期入所)	常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	2名	1	2

(特定相談支援事業)	
相談支援専門員	1名(管理者と兼務)

2 実施職員研修

年間研修回数	21 回	
延参加人数	51 名	
（新人研修関係	3 回	9 名）
（人権研修関係	3 回	12 名）
（支援研修関係	5 回	10 名）
（実務研修関係	5 回	10 名）
（運営研修関係	5 回	10 名）

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

[9] その他、年度を通して

コロナ禍にあつて、この数年、行事や外出を伴う取り組みを控えてまいりましたが、マスクの着用など一定の緩和が見込まれる中、少しずつでも外に向けた活動を再開していくべく、人員や日課・週課の整理が必要となってくる年度かと考えられます。

また、相談支援事業の充実に伴い、やや抑え気味に運営を続けてきた短期入所の利用人数も増え、稼働率が上がる傾向にあります。生活介護においても若干ながら新しい利用者を迎えており、それに呼応するべく人員の拡充が急務の課題となっています。今年度は求人および研修育成のための取り組みを念頭に活動を行っていきたいと思います。